

令和6年度 子宮頸がん検診のご案内

実施期間：令和6年5月7日～令和7年1月31日

マイレージ
20ポイント

検診を受ける前に **必ず** お読みください ※裏面もお読みください

1. 子宮頸がん検診受診券を確認する

受診前に電話番号と裏面の問診票を必ずご記入ください。(集団検診の場合は記入不要)

2. 受診場所を選ぶ

医療機関で受ける



- ①医療機関を選び、直接電話等で予約し、受診してください。※下記の実施医療機関一覧を参照
- ②検診結果は受診した医療機関からお伝えします。

実施医療機関一覧

医療機関名	校区	所在地	電話	医療機関名	校区	所在地	電話
井嶋産婦人科医院	岩田	平川本町1	63-1351	つつじが丘ウイメンズクリニック	つつじが丘	つつじが丘2	66-5550
今泉産婦人科医院	豊	仲ノ町	62-7173	豊橋医療センター	飯村	飯村町	62-0301
小石マタニティクリニック	つつじが丘	つつじが丘2	66-1212	豊橋元町病院	大清水	南大清水町	26-1120
KMCウイメンズヘルスクリニック	つつじが丘	つつじが丘1	66-5514	中岡レディースクリニック	岩西	東幸町	63-5588
光生会病院	東田	吾妻町	61-3024	パークベルクリニック	松山	南松山町	56-0020
ジュンレディースクリニック豊橋	栄	北山町	38-0306	ひらでかおるクリニック	汐田	牟呂町	37-5731
竹内ARTクリニック	松葉	新本町	52-3463	マミーローズクリニック	吉田方	高洲町	32-6585
竹内産婦人科	松葉	新本町	52-3453				

集団検診で受ける



- ①同封の「集団検診・健診のご案内」の日程表を確認し、予約してください。
- ②検診結果は4週間以内に郵送されます。

3. 内容・受診料・持ち物等

受診場所	医療機関	集団検診
内容	問診・視診・内診・子宮頸部細胞診	
受診料	1,600円	1,000円
対象年齢	20歳以上 偶数年齢の女性(2年に1回) ※対象の年齢は令和7年3月31日時点	
持ち物	<ul style="list-style-type: none">● 受診券● 受診料 (受診料欄に「有料」と印字の方は受診料が必要。) ※市県民税非課税世帯・生活保護世帯の方は無料です。 ※世帯の課税状況は、令和5年度課税状況(令和4年の収入により算出)であり、かつ令和5年1月1日時点の世帯を反映。 ※令和6年度にHPVワクチンを接種した20～26歳の方は無料です。令和6年度の接種済証をご持参ください。● 保険証 検診の他に検査を追加したり、治療を受けた場合は保険診療(有料)となります。● ナプキン (検診後、まれに出血することがあります。)	
注意事項	<p><共通></p> <ul style="list-style-type: none">・生理(月経)以外の出血等の自覚症状がある場合は、検診ではなく速やかに医療機関へ受診してください。・受診後の受診券の発行・再発行はできません。・年度内に2回以上受診された場合は、検診にかかる費用をお支払いいただきますのでご注意ください。・性交渉未経験の方は、子宮頸がんになる可能性が低く、また検査時に出血や強い痛みを伴う場合があります。・生理中は受診しないでください。生理終了後1週間～次の生理までの間に受けることが望ましいです。・子宮を全摘出された方は検診対象ではありませんが、子宮頸部が残っている場合は対象となるため主治医にご相談ください。 <p><集団検診></p> <ul style="list-style-type: none">・妊娠中の方は受診できない場合があります。・暴風警報等が発令された場合は、検診を延期・中止することがあります。最新情報は市ホームページをご覧ください。・受診者及びお子様の安全確保のため、お子様を連れて受診することはできません。施設内で安全かつ静かに待つことができるお子様については、お子様を連れて会場にお越しいただいても構いません。ただし、施設内や駐車場等でのお子様のケガ、事故等に関しては、豊橋市では一切責任を負いません。	

①



子宮頸がん検診は
※20歳以上の偶数年齢（2年に1回）の方が対象です。 ※令和7年3月31日時点の年齢

子宮頸がん予防ワクチンについてお知らせ
接種機会がなかった方が無料で接種できる
期限は令和7年3月31日までです。
※対象年齢・平成9年4月2日～
平成20年4月1日生まで
この機会にホームページのリーフレットを読んでください。↓
問合せ先 保健医療企画課 ☎39-9109



<問合せ先>
豊橋市保健所 健康増進課
TEL39-9136 FAX38-0770
ホームページ 豊橋市 がん検診 検索

③



②



がん検診で必ずがんが見つかるわけではありません（偽陰性）。
また、がんがなくても、がん検診の結果が「陽性」となる場合があります（偽陽性）。